



パートナー（弁護士）

鈴木 優

Masaru Suzuki

使用言語 日本語 / 英語

Career経歴

1976年 生

1995年 3月 群. 県. . 崎. 等学校卒業

2000年 3月 東北. 学法学部卒業

2003年 3. 東北. 学. 学院法学研究科修. 課程修了

2004年 4. 最. 裁判所司法研修所. 所

2005年 10. 第. 東京弁護. 会登録

TMI総合法律事務所勤務

2010年 3.	通信会社出向（～2013年6月）
2013年 4月	決済代行会社出向（～2013年6月）
2014年 5.	デューク・学ロースクール卒業（LL.M.）（国際紛争解決・コーポレートガバナンス）
2014年 8.	シンガポールのラジャ・アンド・タン法律事務所勤務（～2015年6月）
2015年 7.	TMI総合法律事務所復帰
2015年 10月	製薬会社出向（～2016年9月）
2017年 4月	法務省訟務局国際裁判支援対策室局付（国際裁判及び投資仲裁に関する対策、国際商事仲裁の有効活用に向けた検討等の業務に従事）（～2019年7月）
2018年 5.	マレーシアのアジア国際仲裁センター（AIAC）にて研修（インターン）及び調査研究
2018年 9月	香港国際仲裁センター（HKIAC）にて研修（インターン）及び調査研究
2019年 5月	
2019年 8月	国際商業会議所（ICC） 仲裁裁判所シンガポールオフィス（SICAS）にて研修及び調査研究 外務省国際法局国際法課外務事務官（～2019年9月） 在英国日本国大使館一等書記官（国際法の解釈・適用に関する調査・分析、国際裁判支援業務、宇宙及びサイバー空間における法形成の動向調査、欧州及び南米諸国の情勢に関する調査・分析等の業務に従事）（～2021年8月） TMI総合法律事務所パートナーとして復帰
2021年 8月	法務省民事局参事官室調査員（非常勤）（～2023年7月）
2022年 10月	中央大学法科大学院特任教授（英米法・国際紛争解決手続法担当）
2023年 4月	

SPECIALTY

取扱分野

M&A/アライアンス（提携）/コーポレートガバナンス/企業再編/ジョイントベンチャー/商事関連争訟/不正競争/知財争訟/システム・ソフトウェア開発/リスクマネジメント/不正調査/商事関連争訟/知財争訟/税務争訟/行政訴訟/国際訴訟・仲裁・調停・ADR/消費者対応

AFFILIATION

登録・所属

第1東京弁護士会（2005） / 国際法学会 / 国際私法学会 / アジア国際法学会日本協会 / ITヘルスケア学会 / 日本仲裁人協会（JAA） / 英国仲裁人協会（CIArb） / アジア国際仲裁センター（AIAC）仲裁人 / 日本組織内弁護士協会（JILA） / 日本比較法研究所研究員

PUBLICATIONS・EVENTS

論文・著書・セミナー

- | | | |
|------------|------|---|
| 2026/06/28 | セミナー | アジアにおける安全保障化と国際法 |
| 2024/07/24 | セミナー | 日本企業は中国ビジネスとどう向き合うべきか～米中対立構造下での中国の反外国制裁法、反スパイ法のエンフォースメント、個人情報保護法制の留意点にフォーカスし、最新の動向を踏まえて解説します～ |
| 2024/05/21 | 著書 | 『データ利活用のビジネスと法務』 |
| 2024/01/30 | セミナー | TMI特別セミナー「中国の本質を踏まえて日本企業は中国ビジネスとどう向き合うべきか～米中対立構造における中国の反外国制裁法、反スパイ法のエンフォースメント、個人情報保護法の越境移転規制に焦点をあてて～」 |
| 2023/09/11 | 論文 | The Use of Technology in the International Commercial Arbitration and the Consideration of Rulemaking |
| 2023/06/11 | セミナー | 「国際取引と仲裁・調停による紛争解決」報告 国際商事紛争解決におけるテクノロジー利用の在り方とルール形成の方向性に関する一考察 |
| 2023/06/01 | 論文 | Japan: Litigation |
| 2023/02/14 | セミナー | 世界情勢を見据えた危機管理、M&Aの動向とグローバル広報のあり方 |
| 2022/12/30 | 論文 | 英国のEU離脱後における英国法とEU法との「相克」 |
| 2022/05/10 | 論文 | ロシアによる「非友好国」企業の「国有化法案」に関する一考察
日本・ロシア投資協定上の紛争解決手続の活用の可能性 |

Other

その他

■その他

2021/12/21

「The Business Law Firms

2022」(ビジネス法務2022年2月号特別付録) およびビジネス法務Webサイト

「強力なチーム力でクライアントの強靱な成長と発展をサポート

国際紛争処理を見据え、変化する時代に即応した

総合的な解決策を提示」 中央経済社

関連する記事コンテンツ

[セミナー・イベント] アジアにおける安全保障化と国際法

セミナー # リスクマネジメント # 国際訴訟・仲裁・調停・ADR

[ブログ] 2024年のマレーシア改正仲裁法の概要と実務に及ぼす影響～Third Party Fundingに関する包括的規定の新設とアジア国際仲裁センター(AIAC)のガバナンス強化に向けた組織改革～

商事関連訴訟 # 国際訴訟・仲裁・調停・ADR # その他争訟 # 総合サービス

[セミナー・イベント] 日本企業は中国ビジネスとどう向き合うべきか～米中対立構造下での中国の反外国制裁法、反スパイ法のエンフォースメント、個人情報保護法制の留意点にフォーカスし、最新の動向を踏まえて解説します～

セミナー # 国際訴訟・仲裁・調停・ADR

[執筆情報] 『データ利活用のビジネスと法務』

著書 # 個人情報 # データ (保護法制、取引) # AI/IoT # システム・ソフトウェア開発 # 情報・通信・メディア・IT

[セミナー・イベント] TMI特別セミナー「中国の本質を踏まえて日本企業は中国ビジネスとどう向き合うべきか～米中対立構造における中国の反外国制裁法、反スパイ法のエンフォースメント、個人情報保護法の越境移転規制に焦点をあてて～」

TMI主催・共催セミナー # ピックアップセミナー # TMI特別セミナー # M&A # アライアンス (提携) # 企業再編 # 個人情報 # データ (保護法制、取引) # リスクマネジメント # その他危機管理

[ブログ] 「AI事業者ガイドライン案」をガイドする～2024年・生成AIに関する日本における状況～

AI/IoT # データ (保護法制、取引) # システム・ソフトウェア開発 # 個人情報 # 知的財産 # 著作権 # リスクマネジメント

[執筆情報] The Use of Technology in the International Commercial Arbitration

論文 # 国際訴訟・仲裁・調停・ADR

[ブログ] 調停に関するシンガポール条約（正式名称「調停による国際的な和解合意に関する国際連合条約」）への日本の加入が意味するところ～日本における国際調停の利活用に対する展望～

商事関連訴訟 # 国際訴訟・仲裁・調停・ADR # その他争訟 # 総合サービス

[セミナー・イベント] 「国際取引と仲裁・調停による紛争解決」報告 国際商事紛争解決におけるテクノロジー利用の在り方とルール形成の方向性に関する一考察

セミナー # 国際訴訟・仲裁・調停・ADR

[執筆情報] Japan: Litigation

論文 # 国際訴訟・仲裁・調停・ADR

[ブログ] 2023年仲裁法改正とシンガポール国際商事調停条約の国内実施法の制定－国際仲裁と国際調停の効果的な連携による迅速な国際商事紛争解決に向けて－

国際訴訟・仲裁・調停・ADR

[対談・座談・インタビュー] 世界情勢を見据えた対策とグローバル広報
クロスボーダーM&Aについて講演会を実施

M&A # 広報法務 # リスクマネジメント

[セミナー・イベント]
世界情勢を見据えた危機管理、M&Aの動向とグローバル広報のあり方

セミナー # M&A # 広報法務 # リスクマネジメント

[執筆情報] 英国のEU離脱後における英国法とEU法との「相克」

論文 # 国際訴訟・仲裁・調停・ADR

[執筆情報] ロシアによる「非友好国」企業の「国有化法案」に関する一考察
日本・ロシア投資協定上の紛争解決手続の活用の可能性

論文 # 国際訴訟・仲裁・調停・ADR

[ブログ] ロシアのウクライナ侵攻による経済的損害の回復
「非友好国」に対する「対抗措置」の発動に伴う影響を踏まえて

ロシア # ウクライナ # 対抗措置 # 国際訴訟・仲裁 # 投資仲裁 # 投資協定

[ブログ] ミャンマー政変後の最新動向～政変が現地パートナー企業とのリレーションに及ぼす影響と、国際商事紛争が生じた場合の解決プロセス

ミャンマー # 国際訴訟・仲裁・調停・ADR # 商事関連争訟 # アライアンス（提携）
